

令和6年第2回定例会 議会でこんなことが決まりました

令和6年第2回定例会が開会されました。会期は6月3日から12日までの10日間でした。町長より、一般会計補正予算など議案11件と専決処分の承認2件が提案され、いずれも賛成多数で可決しました。



売り上げ改善に期待

令和5年度に道の駅よしおか温泉出荷組合の臨時総会で「組合を解散し、振興公社の傘下に入る」ことを決定し、物産館かざぐるまが令和6年4月1日より振興公社の物産館部門となりました。また、令和7年4月1日より道の駅よしおか温泉の指定管理者による管理対象施設になります。

道の駅物産館が
指定管理になります
ひばりの家が
7月1日に
開設されました

さまざまな理由で学校に通う気持ちが向きづらい児童・生徒に対して、学校に通えることを第一目標としている居場所になります。



通う気持ちが向きづらい児童・生徒の居場所となる

産業団地開発について
基本計画を作ります



増築で定員40人増の予定

駒寄第3学童クラブ増築
ための実施設計委託料を
補正しました。
駒寄第3学童クラブ増築
が増築されます



赤枠は現時点の概略の予定範囲

産鑑定業務委託料を補正しました。

群馬県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議への反対討論
正予算への反対討論
令和6年度一般会計補正予算への反対討論
小池 春雄 議員
産業団地基本計画策定と不動産鑑定などの多額の投資をするには検証・検討が不十分である。町の将来計画をもう一度しっかり吟味し進めるよう強く要望し、反対する。

賛否一覧



討
論

振興公社経営状況

振興公社改善進むが5年度は赤字

令和6年第2回定例会で吉岡町振興公社の経営状況報告が行われました。吉岡町振興公社とは町が100%出資している公社で、道の駅よしおか温泉・リバートピア吉岡・緑地運動公園について、町より指定管理を受けています。

これまでの経緯

令和2年	2月 新型コロナウイルス流行 4月 緊急事態宣言
令和3年	1月 クラブハウス・道の駅案内所棟補修工事 2月 リバートピア吉岡空調更新工事 8月 サウナ改修工事
令和4年	8月～10月 ポンプ修理、洗い場改修工事
令和4年～令和5年	経営コンサルタントとの改革プロジェクト開始
令和5年	3月 道の駅まえばし赤城オープン
令和6年	4月 物産館かざぐるまが、道の駅の施設の指定管理者による運営に変更

吉岡町振興公社には、この数年間で①コロナ禍による利用者の減②経営における収益面、組織面の問題③新たに近隣にオープンした道の駅まえばし赤城との競合という課題に直面。そこで、コンサルタントを通じて、これらの課題や他の要因を洗い出し、改善を進めました。まず、町と公社の役割分担のルールを明文化。具体的な改善として、リバートピア吉岡のレストランのメニュー・価格の見直し、売店のリニューアルを行いました。今後は、新聞やマスコミの活用・ホームページ拡充・パンフレットの配布拡大などPR活動の充実。また複合施設としての魅力も最大限に発信することで、町民はもちろん県内外への幅広い誘客活動を行っていきます。改革の効果で、振興公社の売上総利益はコロナ禍前

物価高騰が最大の赤字要因

(報告概要)

化。具体的な改善として、リバートピア吉岡のレストランのメニュー・価格の見直し、売店のリニューアルを行いました。今後は、新聞やマスコミの活用・ホームページ拡充・パンフレットの配布拡大などPR活動の充実。また複合施設としての魅力も最大限に発信することで、町民はもちろん県内外への幅広い誘客活動を行っていきます。改革の効果で、振興公社の売上総利益はコロナ禍前

の平成30年度を上回りましたが、物価高騰や人件費の増で、当期純利益は104万円のマイナスでした。

令和6年GWの

売り上げは好調

道の駅まえばし赤城の影響は。



温泉の売店も改善が進み売り上げ増に

令和6年のGWの売り上げは、振興公社全体では前年比23・1%増。特にレストランでは前年比48・5%増でした。売り上げが過去最高額となる日もありました。

道の駅まえばし赤城の影響は。

質疑答弁

答 地産地消の機能を拡大するコンセプトを重視してほしいが。

問 物産館かざぐるまの運営が当社から振興公社に変わった。今までよりも多くの生産者に参加してもらいたい。住民に良く、生産者に良く、利用者にも良いという、原点に戻り行ってほしいが。

答 吉岡町の道の駅は温泉やスポーツなどが楽しめる滞在型施設。道の駅まえばし赤城はショッピングモールや子どもたちが楽しめる施設。客層が違うため、競合は少ないと思う。

問 道の駅まえばし赤城の影響は。